

課題：農家戸数の減少に伴い、経営の大型化が進んでいるが、地域の労働力人口などの減少により、雇用による人材確保が困難となっている。  
取組の概要：広大な面積を有し、多様な農業が行われている北海道では、地域によって課題解決のために必要な取組が異なることから、道の行政単位である振興局単位で地域関係者ととも「退職自衛官の活躍モデル」と「TMRセンターなどの効率化モデル」の2種類のモデルに取り組む。モデル地区においては、新たな人材とのマッチングに向けた説明会や農業体験会のほか、農業経営体の雇用条件の改善に向けたセミナーなどを開催する。

### 事業実施主体構成員

全道チーム：北海道農政部、JA北海道中央会、ホクレン  
退職自衛官：振興局農務課、JA中央会支所、地区農協連合会、陸上自衛隊援護担当者  
TMRセンター：振興局農務課、農業改良普及センター、道総研酪農試験場、地域TMRセンター連絡会

### 実績値（目標値）

- ①労働力受入担い手農家数：6経営体（60経営体）
- ②労働環境に満足している被雇用者の満足度：R3調査実施（8割）

## 令和2年度取組み内容

<b>ア 労働力の需給状況の把握</b>
・労働力の実態を把握するため、現地調査やアンケート調査を実施 →労働人口減少のほか、雇用形態や農閑期の対策など多くの課題あり
<b>イ 労働力の確保・育成</b>
・退職予定自衛官向け農業体験会 ・自衛隊援護担当者によるコントラクター及びTMRセンターの現地視察 ・就職説明会等への参加
<b>ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化</b>
<b>エ 農業の「働き方改革」への取組み</b>
・雇用環境改善等のセミナー（2月下旬開催予定）
<b>オ 他産地・他産業との連携による労働力確保</b>

## 課題と令和3年度の実施内容

<b>ア 労働力の需給状況の把握</b>	
【課題】	【次年度の実施内容】
<b>イ 労働力の確保・育成</b>	
【課題】 コロナの影響により、研修会等の開催が困難な状況	【次年度の実施内容】 原則会場での開催を検討しているが、コロナ収束の目処が立たない場合は、リモートでの開催を検討。
<b>ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化</b>	
【課題】 継続的にマッチングを図る体制の確立	【次年度の実施内容】 体験会等の参加者へのアンケートや自衛隊援護担当者等との協議により、農業者側へ意見を反映するなど、継続的にマッチングを図るための取組を推進する。
<b>エ 農業の「働き方改革」への取組</b>	
【課題】 コロナ禍により、セミナー等の開催が困難な状況  「働き方改革」の取組拡大	【次年度の実施内容】 原則会場での開催を検討しているが、コロナ収束の目処が立たない場合は、リモートでの開催を検討。  全道段階での取組を推進するため、成果報告会等を開催。また、先進地との意見交換を行うなど、より実践しやすい取組を全道に波及。
<b>オ 他産地・他産業との連携による労働力確保</b>	
【課題】 関係機関との連携	【次年度の実施内容】 退職自衛官や運輸業のオペレーターなどの異業種を、農業やTMRセンター等の人材確保につなげるため、関係機関とさらなる連携を図り、労働力確保に向けた取組を推進する。



- ・退職自衛官向けインターンシップ



搾乳作業を体験し、  
雇用条件等について意見交換

- ・自衛隊援護担当者向けコントラクター及びTMRセンターの現地視察



機械や設備を見学し、  
勤務内容等について意見交換